

令和 7 年度 学校経営計画書

石川県立大聖寺高等学校

学校長 吉本 達治

1 教育目標

自主自律の精神を堅持し、自他の生命と個性を尊び、気品と活力のある創造性豊かな人間の育成を期す。

- ① 高い知性を持ち、創造性豊かな人間を育成する。
- ② 自己実現のために心身共にたくましい人間を育成する。
- ③ 広い視野に立って郷土を愛し、行動力のある人間を育成する。

2 学校の現状

- ① 創立 115 年の歴史を持つ南加賀地区の進学校として、「令和の日本型学校教育」の実現に向けて、学びの改革に取り組んでいる。
- ② 近年の教育改革、大学入試改革による教育環境の変化に対応するため、職員の協働性を高める取り組みを学校全体で行っている。
- ③ 生徒が主体的に学業や学校行事、部活動等に取り組むための意識改革を行っている。
- ④ STEAM教育を通して、地域との連携を強化し、主体的に地域と関わり貢献できる人材の育成を図っている。
- ⑤ DXハイスクール採択校として、デジタル等成長分野を支える人材育成の強化に取り組んでいる。

3 中・長期的目標

(1) 生徒に関する中・長期的目標

- ① 目的意識をしっかり持たせ、主体的・積極的に学ぶ態度を育成する。
- ② 将来の目標を確立させ、早期から進路を選択できる能力を育成する。
- ③ 学校行事や部活動、生徒会活動、各種体験学習等を通して、豊かな人間性とたくましい心身を育成する。
- ④ 自然災害等に対する危機管理体制及び防災教育の充実による安全・安心な学校づくりを進める。

(2) 教職員、学校組織等の望ましい在り方

- ① 職員一人一人が生徒の可能性を最大限伸ばせるように、研修等を通じて授業力・支援力の向上に努める。
- ② 学校公開やホームページ、SNS等を通じて本校の教育活動を積極的に外部へ発信するとともに、保護者、地域及び小中学校との一層の連携を図り、「開かれた学校づくり」「信頼される学校づくり」を推進する。
- ③ 教職員がその年代や経験に応じて身に着けるべき資質・能力を「教員育成指標」をもとに意識し、高めていこうとしている。
- ④ 教職員のワークライフバランスに配慮し、多忙化改善に向けた学校マネジメントを推進する。
- ⑤ 日頃から危機管理の意識を高め、不測の事態においても適切に対応できる実践力ある組織を目指す。

4 今年度の重点目標

- ① 多様な進路志望に応じ、生徒が主体的に未来を切り拓けるように3年間を見通した進路支援体制の充実を図る。
- ② 学習に対する生徒の意欲を高め、学習内容の確実な定着を図るとともに、生徒が一人一台端末や学習支援ツールを効果的に活用し、「主体的・対話的で深い学び」を実現できるように支援する。
- ③ 専門的な外部人材の活用や大学との連携を通じて、探究的・教科横断的・実践的な学びを強化する。
- ④ 様々な生徒が主体性を発揮できるように、部活動や生徒会活動の活性化を図るとともに、地域との連携に努める。
- ⑤ 防災に関する知識や関心を高め、緊急時にも適切に対処できる学校組織を構築する。
- ⑥ 教職員のウェルビーイングを目指し、業務の精選・効率化・平準化に努めるとともに充足感を感じることができ働き方改革を進める。